

魚類図鑑

注意：全長は、ふつうに見られる中で最大の大きさです。

ウナギ

ウナギ目ウナギ科

全長：約100cm



■解説

体は細長く円筒形で、腹びれはなく、背びれと尾びれ、尻びれがつながっています。

産卵場所は、日本から遠くはなれたマリアナ諸島西方の海域といわれています。海で生まれた後、川によって成長し、再び海に下って産卵します。

ウナギは食用として人気があり、浜名湖の養殖ウナギは全国的にも有名です。

■食べているもの

稚魚は動物プランクトン、成魚は甲殻類、水生昆虫、ヒル類、ミズズミ類、貝類、小魚などを食べています。

■現地調査での確認範囲

下流域 中流域 上流域

■主な生息環境

河川域

ワンド 淵 瀬

■生活型

回遊魚

□：主な確認範囲

アシシロハゼ

スズキ目ハゼ科

全長：約9cm



■解説

幼魚の時はマハゼに似ていますが、成魚になると体の横に白い線が多く見られるようになります。

おもに河口や内湾の砂底にすんでいます。海産アユの放流に混じって、上流で見つかることもあります。汽水域で石や貝がらの裏などに卵を産みつけます。

■食べているもの

雑食性で、底生生物や川底の石についた藻類などを食べています。

■現地調査での確認範囲

下流域 中流域 上流域

■主な生息環境

河川域

ワンド 淵 瀬

■生活型

汽水・海水魚

□：主な確認範囲

ボラ

スズキ目ボラ科

全長：約60cm



■解説

頭の上が平らで、頭の断面は逆三角形をしています。

おもに河口周辺で見られますが、時には川の中流域までのぼってくることもあります。産卵期には大群で外洋の深みへ移動します。「ハクオボコイナボラトド」など、成長するにつれて呼び名が変わる出世魚の一つです。

卵巣は「カラスミ」の材料として知られています。

■食べているもの

川底の石についた藻類、デトリタス(落ち葉や動物の死がいなどが分解されたもの)などを食べています。

■現地調査での確認範囲

下流域 中流域 上流域

■主な生息環境

河川域

ワンド 淵 瀬

■生活型

汽水・海水魚

□：主な確認範囲

小魚が大好きな鳥「コアジサシ」

コアジサシは、全国的な繁殖地の減少から、絶滅が危惧されている小さな鳥です。天竜川は、1994年頃には国内最大級のコアジサシ繁殖地といわれていました。しかし、1995年以降、確認個体数や営巣数ともに減少傾向にあります。



天竜川下流域から中流域にかけては、4月から9月までの間、小魚や水生昆虫をとらえているコアジサシの姿を観察することができます。

コアジサシがエサとするおもな魚

海域	汽水域	河川域
サッパ	スズキ	アユ
カタクチイワシ	ボラ	ヌマチチブ
サヨリ	ヒイラギ	モツゴ
サンマ	マハゼ	ウグイ
メバル		